



2026 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 meito
代 表 者 名 代表取締役社長 三矢 益夫
(コード番号 2207 東証プライム・名証プレミア)
問 合 せ 先 経 理 部 長 栗本 正直
(TEL. 052-521-7113)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 8 月 10 日付の取締役会決議により、2026 年 5 月 14 日に公表いたしました 2027 年 3 月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 30,500	百万円 1,800	百万円 3,000	百万円 2,100	円 銭 128.81
今回修正予想 (B)	30,500	1,800	5,000	4,600	282.17
増 減 額 (B - A)	0	0	2,000	2,500	—
増 減 率 (%)	0.0	0.0	66.7	119.0	—
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期)	29,106	1,230	2,913	3,067	183.21

2. 修正の理由

当社は、2026 年 5 月 14 日公表の「中期経営計画の財務戦略に基づく取り組みの見直しおよび次期中期経営計画の財務方針策定に関するお知らせ」でお知らせいたしましたとおり、資産効率の向上および資産の有効活用観点から、保有株式の縮減に向けた取り組みを強化しております。今般、当期の有価証券売却方針を以下のとおり決定したことに伴い、通期の連結業績予想を修正いたします。

【当期の有価証券売却方針】

・純投資目的の保有株式：

年間 20 億円程度の有価証券売却益を営業外収益として計上する水準を目安に、計画的に売却を進める見通しです。なお、当該売却により得られる資金は、当期の自己株式取得資金に充当する予定です。

・純投資目的以外の保有株式：

今後の資金需要に応じて機動的に売却を実施していく方針であり、当該売却による投資有価証券売却益は特別利益に計上いたします。

【現時点における進捗】

上記方針に基づき、第 1 四半期連結累計期間において純投資目的の保有株式の売却により約 4 億円を営業外収益に計上いたしました。また、第 2 四半期連結累計期間につきましても、現時点において純投資目的以外の保有株式の売却により約 16 億円を特別利益に計上する見込みです。

これらの決定方針および足元の売却実績等を当期の連結業績予想に反映した結果、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を上回る見込みとなったため、連結業績予想を修正するものであります。

当社は保有株式の売却により創出された資金を、持続的な企業価値向上に向けた成長投資および株主還元の原資として活用するため、これまで以上に保有株式の縮減を加速していく方針であります。今後の売却実績の確定等により当期の業績へ影響を与える事象が生じた場合につきましても、適時開示いたします。

なお、現在、次期中期経営計画（meito CHALLENGE 2029）の策定に向けて今後の資金需要の見通しを精査しており、保有株式の縮減の期間や規模等の具体的な方針が固まりましたら、速やかにお知らせいたします。

（注）上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により上記予想値とは異なる結果となる可能性があることをご承知おください。

以 上